

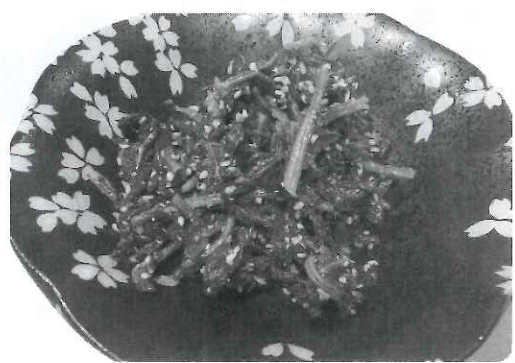
風紋

2018 No. 554 (12月号)

浜岡砂丘

おこし〜♡レンジ♡ 番外編

協力業者の山下ブロックさんから大根のぬき菜を頂きました。
ぬき菜とは…大根は種をまき、芽が出てきたら間引きをします。間引きをしないと苗の間隔が狭すぎて大根が大きくならないため、成長に合わせて苗を抜いていきます。その間引きをして抜いた苗がぬき菜です。柔らかくてクセがなく、カロテンやビタミンが豊富で栄養満点♪山下さんのイチオシはぬき菜と油揚げのお味噌汁です。私はごま和えも作ってみました。



ぬき菜のごま和え

材料 大根のぬき菜…たっぷり
醤油…大さじ1と1/2
砂糖…大さじ1
白ごま…大さじ2

作り方 ①ぬき菜はよく洗い、根の部分を切り落とし、サツと塩ゆでする。
②ゆであがった①を冷水にとり、水気をしっかりと絞ったら2〜3cm幅に切る。
③白ごまをすり鉢ですり、醤油、砂糖とよく混ぜる。②のぬき菜と和えたら完成！

セルフローダー納車

五十三期となり弊社のセルフローダーを新しくしました。以前のもので大きく変わったのは、荷台がスライド式になり重機の昇降がスムーズになりました。重機の回送が増える時期になっていきますので安全運転に心がけていきます。



年末調整のお知らせ

今年も年末調整の季節がやってきました。一年は本当に早いものです。年末調整とは、簡単に言うと国に対して支払いすぎた、もしくは支払いが不足している税金(所得税)の差額を調整する手続きのことです。配布された用紙に必要事項を記入して、生命保険料控除証明書等と一緒に総務部へご提出ください。
十二月七日(金)までお願いします。

平成三十年度 増田組 安全衛生大会

十一月二十一日に本社事務所にて安全衛生大会が開催されました。品質方針唱和の後、社長の挨拶及び当社業務への協力のお礼の挨拶が行われました。



社長の挨拶の後、総括安全衛生管理者より五十二期の反省・五十三期の目標として説明がありました。

「五十二期は、幸いにも被災者が休業となるような大きな労働災害は発生しませんでした。残念ながら軽微な追突事故等が発

12月安全努力目標

年度安全標語(安全ルールがある事を守る) 意識を高めて 災害ゼロ
建設業年末年始防火防犯期間(12/1~1/15)
年末の交通安全県民運動(12/13~12/31)

- 作業安全
・作業エリアの確実な明示
・現場内の整理整頓
- 交通安全
・16時よりライトオン
- 環境目標
・古紙の再利用に努めましょう

行事記録 (12/27~12/28)

- 12/30 袋井建協親睦ゴルフ大会・袋井安全運転管理者法定講習
- 12/1 警察官友の会理事会・静岡
- 12/2 昭和会秋季研修会・東京
- 12/3 小さな親切運動
- 12/6 御前崎市商工会親睦ゴルフ大会 年金委員研修会・掛川
- 12/8 御前崎市建設業組合役員会・全体会 交通基盤部技術発表会・静岡
- 12/9 新入社員等フォローアップ研修・富士宮
- 12/10 御前崎市商工会建設部会視察研修・東京
- 12/10 東海工業専門学校校友会浜松支部総会・懇親会・浜松
- 12/16 中電不動産安全衛生協議会浜岡地区会員研修会・愛知
- 12/21 社内安全衛生大会
- 12/22 御前崎市商工会総務委員会・理事会 年末調整説明会
- 12/23 御前崎市建設業組合地域貢献活動
- 12/23 CHあすなろ会親善ゴルフ大会・掛川
- 12/24 御前崎市大産業まつり
- 12/27 静岡市市長選挙静岡選挙区長就任祝賀会 掛川 産廃講習会・静岡
- 12/28 不当要求防止責任者講習会

行事予定 (11/27~12/26)

発行 増田組
TEL 0537-861-3245
FAX 0537-861-6675
Email masudagumi1@mail.wbs.ne.jp
URL http://www.masudagumi1912.co.jp



を紹介して実践していただきました。

様々なストレッチのやり方を



安全衛生 安全衛生

安全衛生 安全衛生

安全衛生 安全衛生

安全衛生 安全衛生

安全衛生 安全衛生

安全衛生 安全衛生

安全衛生 安全衛生

ホームページアドレス

<http://www.masudagumi1912.co.jp>

カタログパーク <http://www.hamaoka.or.jp/masuda.html>

安全 JOURNAL

本年度も、年末年始労働災害防止強調期間が展開されます。

年末は、工事の制限が付いたり、年内目標出来高に向けて追い込みをかけるなどして、慌ただしくなります。年始では、正月の休工をはさみ、気が緩みやすく労働災害が起こりやすくなります。さらに寒冷化での作業となることにより、災害防止に特別な配慮が必要です。

今一度、初心に帰り、安全作業で取り組みましょう。



ヒューマンエラー

年末年始の労働災害防止では、ヒューマンエラーを防ぐことが重要になると思いますので、おさら

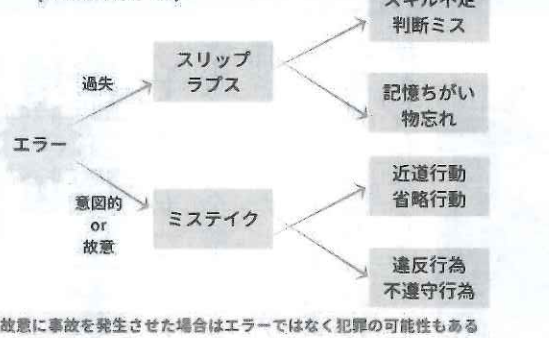
いしておきます。

ヒューマンエラーの代表

・危険軽視・慣れ
慣れてくると「事故が起こるわけがない」「このくらいは大丈夫」と危険を軽視し始めます。また、工期に追われると危険を軽視する傾向にあると言われています。作業手順書を利用するなどしてルールに則した作業をするようにしてください。

・近道・省略行動
正規の手段、手順を踏まないで作業をすると、労働災害につながります。危険軽視同様に注意

ヒューマンエラーの分類 (発生要因ベース)



※故意に事故を発生させた場合はエラーではなく犯罪の可能性もある

が必要です。

疲労

疲労が蓄積すると、様々な能力が低下します。作業をするうえで避けられないことですが、適度な休憩と長時間労働の緩和が必要で、また、十分な睡眠と、暴飲暴食を避けるなどして、体調管理にも気を付けてください。

不注意

実は作業に集中しているときに多くみられます。集中すればするほど、周りへの注意を怠ってしまうものです。一人作業をさげ、仲間が気を配ることも大切になってきます。

無知、未経験・不慣れ

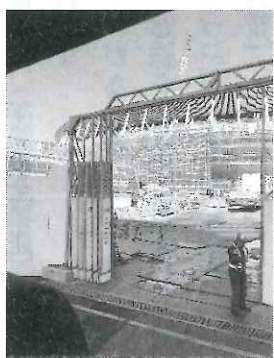
作業に関しての知識が足りなかつたり、経験が乏しい為に起きます。リーダー職以上の方は、新人教育や、どこが分からないかをヒアリングし、技術を習得できるように環境を作りましょう。

以上のようなことを注意し、年末年始を無災害で乗り切りましょう。

商工会建設部会 視察研修

十一月九日、十日と視察研修で東京に行ってきました。

今回は、東京都虹の下水道館見学、スカイダック（水陸両用バス）乗車、明治神宮参拝に行ってきました。また、東京都はオリンピックに向けて建設ラッシュが続いていて様々な場所で工事が行われていました。国立競技場も車窓から見学しましたが大規模な工事現場でスケールの違いを感じました。実際に見て東京オリンピックピックが開催される二〇二〇年は、現地でぜひ見てみたいと感じる有意義な研修でした。



修でした。



文 末武篤子
写真 菅原 正

今年最後のコラムになりました。

街はすでにX・マス商品で溢れ、TVコマーションもX・マスモード満載です。それも二十五日まで。翌日からは正月飾り商戦です。

毎年ですが、売り手は大変だなと思いつつ、いつの頃からか我家のしめ縄飾りは、青森県鶴田町の物を購入しています。郷土愛ですね。

「この二三日前から朝夕の空気に冬の匂いを感じられます。弘前公園の桜の葉も殆ど落ち、菊と紅葉祭り（十一月中旬までのイベント）が終わったら、本格的に冬支度に入るようです。園内の樹木の雪吊りや藁飾り（縄で形作られた亀や伊勢エビ、ミニ門松のオブジェ等を雪吊りの頂上に取り付けたもの）がとてもステキに仕上がっていました。」

先日、朝のウォーキングを日課にしている、前の職場の同僚女性からこのような手紙が届きました。

ああ、そう云えば、冬の匂いってありましたね。温暖な浜松での暮らしに慣れた私は、そうか津軽はもうそんな時期なのか、と気付かされるのです。

桜まつりで賑わいをみせた弘前城公園も冬になるとあたりは静寂に包まれ、積雪時にはなおのこと、散策する人たちの姿も少なくなります。そんな中でも、除雪車で排雪された園内は、気持ちよくウォーキングができるのです。



冬の弘前城公園本丸

とかく冬は足元が悪くなり、靴に足を捕られがちですが、頭上も注意しなくてはなりません。特に軒下を通る時は、落雪や氷柱に警戒しながら歩くのです。

冬もポカポカ

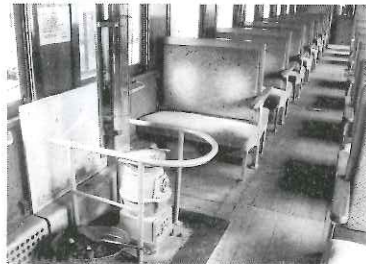
日本最北に津軽鉄道という、全長二十七キロメートルの小さな私鉄があります。季節ごとに「風鈴

列車」、「鈴虫列車」、「ストーブ列車」を運行しますが、最も賑わうシーズンが冬です。通常はオレンジ色の「走れメロス号」が運行するところ、冬期だけディーゼル機関車が牽引する「ストーブ列車」のお出ましです。雪の津軽平野を旅情たっぷりに、揺られて走ります。車内のだるまストーブの囲りは、顔が火照るほどに熱くなり、そのストーブの上では、餅やスルメを焼いて楽しむことができます。

自分で持ち込みもOK。ただし、汁が出ず煙も出ないものに限りです。車内でもスルメやお酒を販売していますので、もっとポカポカになりたい方は酒つこも召しあがれ。



津軽鉄道 ストーブ列車



レトロ感満載の車内

「緊急消防援助隊合同訓練」に参加して

十一月四、五日に『平成三十年緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練』が静岡県にて開催されました。中部地区の富山・石川・福井・岐阜・愛知・三重や、国・県の関係機関等が参加し総合訓練をおこないました。私は五日の静岡空港にておこなわれた訓練に島田市消防団として参加し、中山間地土砂災害を仮想した人命救助を体験させていただきました。土砂で埋まった家屋から人力にて消防署員と協力し要救助者の探索をおこないましたが、重機が使えない状況で捜索活動をおこなうことが、いかに大変なのかを改めて感じるこ

とができます。今後、このような機会があれば参加したいと思えます。(Y)

